

学校設定教科「五高ベーシック」について

秋田県立五城目高等学校

ねらい

① 合格者のニーズに応えます

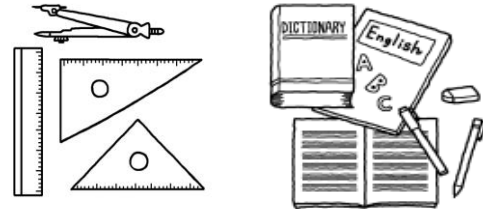
本校の合格者の多くが、中学校での学習が不十分であることを自覚しています。高校入学後にも復習する機会をつくることで、高校での学習への不安を取り除きます。

② 高校の学習にスムーズに接続します

高校の学習は、中学校での学習を前提にしています。中学校で習っても理解が不十分であったり忘れていたりすると、最初からつまづいてしまいます。中学校の復習をすることによって、スムーズに接続できます。

③ 「五高ベーシック」の学習習慣が高校生活の充実につながります

授業がわからなければ学習の意欲がわきません。高校の学習は、家庭学習の習慣がなければ身につけません。中学校の復習というわかりやすい部分からスタートして、高校の学習につなげていき、学習習慣を身につけることによって高校生活を充実させ、卒業後の進路達成をめざします。



やり方

① 1週間に、2時間行います。

② 内容は英語、数学の2教科です。

③ 習熟度少人数クラスで実施します。

④ 中学校での学習内容を「もう一度教える」講義を行い、その後「演習」を行います。グループにより複数の先生方が指導します。

⑤ 取り組んだプリントの枚数、プリントへの取り組み方、授業態度、確認テストにより評価を行います。

《五高ベーシックの実施について》

1. 月曜日6校時と木曜日4校時に行います。

2. 1年生3クラスを6解体します。

① 次のようになります。

第1グループ(1G) 40名		第2グループ(2G) 39名	
1年A組27名	1年B組13名 No.1~13	1年B組13名 No.14~26	1年C組26名
習熟度別3グループ		習熟度別3グループ	

② 指導はクール単位で行います。

クールは次のようにします。1クラスに対し、各グループは連続した2回の授業を行います。終了したら他クラスにおいて同様に行います。全てのクラスに対し、英語、数学の指導を終えたら、次のクールに移ります。

【授業予定】

	第1クール			
	4月18日(木)	4月22日(月)	4月25日(木)	5月9日(木)
1G	数学1回目	数学2回目	英語1回目	英語2回目
2G	英語1回目	英語2回目	数学1回目	数学2回目
	第2クール			
	5月13日(月)	5月20日(月)	5月23日(木)	5月27日(月)
1G	数学3回目	数学4回目	英語3回目	英語4回目
2G	英語3回目	英語4回目	数学3回目	数学4回目
	第3クール			
	5月30日(木)	6月6日(木)	6月20日(木)	6月24日(月)
1G	数学5回目	数学6回目	英語5回目	英語6回目
2G	英語5回目	英語6回目	数学5回目	数学6回目

以下省略

③ 学期ごとに確認テストを行います。

1学期の確認テストは6月27日(木)か7月8日(月)のどちらかの予定です。
50分の授業を半分にして、英語と数学のテストを実施します。

3. 授業は次のように行います。

①講義を行った後に演習を行う、というのが授業の基本形です。

②6グループに対して11人の先生方が指導に当たります。

配置は次のとおりです。

【英語】

英語科、地歴科、芸術科の6人の先生方が一緒に指導してくれます。

【数学】

数学科、理科、芸術科の5人の先生方が一緒に指導してくれます。

③必要に応じて先生方が講義を行います。

英語内容の授業の時は、英語科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。また数学内容の授業の時は、数学科科教員、理科科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。

④演習プリントは、原則として自己採点します。

⑤演習プリントは、授業時間内に先生がチェックします。チェックしきれなかったプリントは回収してチェックし、次の時間に返却します。

⑥適宜、確認テストを行います。

4. 評価については次のように行います。

①「知識・理解」「関心・意欲・態度」の2観点から評価します。

②「知識・理解」は、英語的内容は「確認テスト」、数学的内容は「プリント得点」と「確認テスト」で評価します。

③「関心・意欲・態度」は、英語的内容については「授業態度」「提出枚数」で、数学的内容については「授業態度」で評価します。「授業態度」の配点は異なります。

英語			数学		
確認テスト	25点	合計 50点	プリント得点	10点	合計 50点
授業態度	5点		確認テスト	20点	
提出枚数	20点		授業態度	20点	

5. その他

①テキスト、演習プリント、ファイルのサイズはA4です。

②「英語」、「数学」、2つのファイルを学校で用意します。

③ファイルにはテキストや演習プリントをファイルします。

【1年生五高ベーシック】年間指導計画

科目名	五高ベーシック	学 年	1	単位数	2
教科書	進路マップマナトレ (ベネッセ)				
副教材	演習プリント				
学習のねらい	五高1年生の弱点や高校での学習に復習しておくべき分野を重点的に学び直しをして、義務教育段階での学習内容を定着させ、高校での学習にスムーズに取り組めるようにする。				
学 習 内 容			到 達 目 標		
1 学 期	【英語科分野】 語法 (人称、数、代名詞、be動詞) 【数学科分野】 計算の基礎 (四則演算・小数・分数・比)、割合・単位 (百分率・歩合と小数・分数)		【英語科分野】 人称、数に関する概念を理解させる。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
2 学 期	【英語科分野】 語法 (be動詞の否定文・疑問文・現在形・過去形、一般動詞の現在形・3人称単数・否定文・疑問文)、単語、文化教養基礎 【数学科分野】 割合・単位 (百分率・歩合と小数・分数)、量と測定、様々な数 (正負の数、平方根)、方程式・不等式		【英語科分野】 be動詞、一般動詞の語法について理解する。文の転換について理解する。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
3 学 期	【英語科分野】 語法 (一般動詞過去の否定文・疑問文、助動詞) 【数学科分野】 様々な数 (正負の数、平方根)、方程式・不等式		【英語科分野】 一般動詞 (過去) の文、助動詞を含む文を正確に読んだり書いたりできるようにする。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
評 価 方 法					
1. 前ページ参照のこと。					
学習のアドバイス等					
1. 配布プリントは必ずファイリングすること。					